

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-223774(P2003-223774A)

【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)

【出願番号】特願2002-19246(P2002-19246)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 23/107

G 1 1 B 5/735

G 1 1 B 5/738

G 1 1 B 5/78

// G 1 1 B 23/087

【F I】

G 1 1 B 23/107

G 1 1 B 5/735

G 1 1 B 5/738

G 1 1 B 5/78

G 1 1 B 23/087 5 0 8 W

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁気テープを巻装したリールハブと、前記リールハブを回転可能に収納するカートリッジ本体とを備えた磁気テープカートリッジにおいて、
 前記リールハブが導電性材料で形成されるとともに、
 前記リールハブに接続される前記磁気テープの一端部が、 10^{-7} 乗オーダ以下の表面抵抗率 $[\Omega/\text{sq}]$ を有し、
前記磁気テープが、プラスチックフィルムと磁性層との間に非磁性導電材料からなる非磁性導体層を介在させてなり、
前記一端部が、前記磁性層を除去して露出した前記非磁性導体層を前記リールハブに対して電氣的に接続され、
前記磁気テープは前記リールハブを介して電氣的に接地されたリール駆動軸を含む外部の接地回路へ接続されている
 ことを特徴とする磁気テープカートリッジ。

【請求項2】

磁気テープを巻装したリールハブと、前記リールハブを回転可能に収納するカートリッジ本体とを備えた磁気テープカートリッジにおいて、
 前記リールハブが導電性材料で形成されるとともに、
 前記リールハブに接続される前記磁気テープの一端部が、 10^{-7} 乗オーダ以下の表面抵抗率 $[\Omega/\text{sq}]$ を有し、
前記磁気テープの磁性面側とは反対側の面に非磁性導電材料からなるバックコート層が設けられ、
前記一端部が、前記バックコート層を前記リールハブに対して電氣的に接続され、

前記磁気テープは前記リールハブを介して電氣的に接地されたリール駆動軸を含む外部の接地回路へ接続されている

ことを特徴とする磁気テープカートリッジ。

【請求項 3】

磁気テープを巻装したリールハブと、前記リールハブを回転可能に収納するカートリッジ本体とを備えた磁気テープカートリッジにおいて、

前記カートリッジ本体が導電性材料で形成されるとともに、

前記磁気テープの各面がそれぞれ 10 の 7 乗オーダ以下の表面抵抗率 $[\Omega / sq]$ を有し、

前記磁気テープが、前記カートリッジ本体に対して電氣的に接続され、

前記カートリッジ本体の内部には、一端が前記カートリッジ本体に固定され、他端が前記磁気テープに接触される導電性材料からなるアーム部材が設けられ、

前記他端が前記磁気テープに弾接されている

ことを特徴とする磁気テープカートリッジ。

【請求項 4】

前記磁気テープが、プラスチックフィルムと磁性層との間に非磁性導電材料からなる非磁性導体層を介在させてなり、

前記アーム部材が、前記磁気テープの磁性面側に接触される

ことを特徴とする請求項 3 に記載の磁気テープカートリッジ。

【請求項 5】

前記磁気テープの磁性面側とは反対側の面に非磁性導電材料からなるバックコート層が設けられ、

前記アーム部材が、前記磁性面とは反対側の面に接触される

ことを特徴とする請求項 3 に記載の磁気テープカートリッジ。

【請求項 6】

磁気テープを巻装したリールハブと、前記リールハブを回転可能に収納するカートリッジ本体とを備えた磁気テープカートリッジを記録、再生するための記録再生装置であって、前記磁気テープに対する情報の記録、又は前記磁気テープに記録された情報の再生を行うための磁気ヘッドと、前記磁気テープの走行をガイドするための複数のガイドローラとを少なくとも含み、

前記ガイドローラのうち前記磁気ヘッドの直前および直後に配置されるガイドローラの少なくとも 1 つは記録再生装置の接地回路に接続され、

前記接地されるガイドローラに接触される前記磁気テープの走行面が、10 の 7 乗オーダ以下の表面抵抗率 $[\Omega / sq]$ を有し、

前記磁気テープが、プラスチックフィルムと磁性層との間に非磁性導電材料からなる非磁性導体層を介在させてなり、

前記磁気テープの走行面が、その磁性面である

ことを特徴とする磁気テープカートリッジの記録再生装置。

【請求項 7】

前記磁気ヘッドが、磁気抵抗効果型の磁気ヘッドである

ことを特徴とする請求項 6 に記載の磁気テープカートリッジの記録再生装置。

【請求項 8】

磁気テープを巻装したリールハブと、前記リールハブを回転可能に収納するカートリッジ本体とを備えた磁気テープカートリッジを記録、再生するための記録再生装置であって、前記磁気テープに対する情報の記録、又は前記磁気テープに記録された情報の再生を行うための磁気ヘッドと、前記磁気テープの走行をガイドするための複数のガイドローラとを少なくとも含み、

前記ガイドローラのうち前記磁気ヘッドの直前および直後に配置されるガイドローラの少なくとも 1 つは記録再生装置の接地回路に接続され、

前記接地されるガイドローラに接触される前記磁気テープの走行面が、10 の 7 乗オーダ

以下の表面抵抗率 $[\Omega / \text{sq}]$ を有し、

前記磁気テープの磁性面とは反対側の面に非磁性導電材料からなるバックコート層が設けられ、

前記磁気テープの走行面が、その磁性面とは反対側の面である

ことを特徴とする磁気テープカートリッジの記録再生装置。

【請求項 9】

前記磁気ヘッドが、磁気抵抗効果型の磁気ヘッドである

ことを特徴とする請求項 8 に記載の磁気テープカートリッジの記録再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

一方、磁気テープ 6 のバック面 6 B をテープリール 7 に導通させる形態は、磁気テープ 6 のバックコート層 24 をリールハブ 7 A に接触させた状態でクランプ 30 により保持する構成である。本実施の形態では、リールハブ 7 A に接続されるバック面 6 B の表面抵抗率 $[\Omega / \text{sq}]$ が、10 の 7 乗オーダ以下となるようにバックコート層 24 が調整される。